

[軽吐]ドセタキセル療法(胃)

外科 管理番号 D109

処方医:

適応:胃癌

3週ごとに繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
ドセタキセル	●																						●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1(月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL [90分 点滴静注]	1瓶	生食50mL [30分 点滴静注]	1瓶 6.6mg
		生食250mL ドセタキセル60mg/m ² [1時間] [壊死性] アレルギー症状注意 特に初~2回投与时 ほぼ10分 以内 投与中1時間観察	1瓶
		生食20mL [静注]	1管

DAY1(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量
デカドロン錠	1回8錠を4回内服(当日夕食後、翌日朝食後翌日夕食後、翌々日朝食後)

[適正使用基準]

1. PS(Performance Status)が0~2である	[DLF] ドセタキセル 好中球減少
2. 重篤な感染症を合併していない	
3. 髄腔内投与でない	
4. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	
5. 機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全がない	
6. PS(Performance Status)が0~2である	
7. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	

血液一般検査	WBC (/μL)	4000 ≤	
	Neut (/μL)	1600 ≤	
	PLT (/μL)	15万 ≤	
	HGB (g/dL)	11.0 ≤	
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤40	
	GPT (IU/L)	≤35	
	TBil (mg/dL)	≤1.2	
	BUN (mg/dL)	≤20	
	Cr (mg/dL)	≤1.1	

今回 累積

ドセタキセル _____ mg _____ mg

[骨髄抑制を考慮した投与量の調節]

WBC (/μL)	4000 ≤	2000 ≤	<4000	<2000
HGB (g/dL)	11.0 ≤	8.0 ≤	<11.0	<8.0
PLT (/μL)	10万 ≤	5万 ≤	<10万	<5万
ドセタキセル	100% 慎重投与			投与中止
初回投与量	1段階減量	2段階減量		
70mg/m ²	60mg/m ²	50mg/m ²		
60mg/m ²	50mg/m ²	休薬		

[DLFを除く重大な副作用]

《ドセタキセル》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [呼吸困難・気管支痙攣・血圧低下・胸部圧迫感・発疹等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・心不全 [呼吸困難・むくみ等]
- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)
- ・腸管穿孔、胃腸出血 [腹痛・吐血・下血等]

- 浮腫・体液貯留
- 心筋梗塞〔胸痛・呼吸困難等〕